

拠出金名:国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構への拠出金

国際機関等名	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構 (英文名称・略称) The Human Frontier Science Program Organization (HFSP/O)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	経済産業省産業技術環境局産業技術政策課国際室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成22年度	926,558	9,857		1米ドル = 94円	0
平成21年度	1,192,943	11,582		1米ドル = 103円	0
平成20年度	1,308,762	11,582		1米ドル = 113円	0
当該拠出金の目的・用途等	プログラムの実施及び、事務局運営				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (2010年度決算)(千ドル)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注1) (%)	当該年度の収入	124,919
1位	日本(注2)	29,523	48.4	当該年度の支出	122,629
2位	アメリカ	9,930	16.3	次年度への繰越	2,290
3位	ドイツ	4,865	8.0	会計検査機関名	
4位	フランス	3,146	5.2	Deloitte & Associe's	
5位	イギリス	1,862	3.1		
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>本プログラムは、1987年中曽根元首相がヴェネチア・サミットで提唱した国際プロジェクトであり、学際性・国際性・若手重視の理念にもとづく、生体の持つ優れた機能の解明に寄与する基礎研究を国際的に共同して推進し、その成果を広く人類全体の利益に供するとともに、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的な役割を果たすことを目的としている。</p> <p>現在までにグラント受賞者から18人のノーベル賞受賞者を輩出するなどしており、国内外で高く評価されている。また、2009年に実施された外部評価機関による評価作業においても、本プログラムから助成を受けた論文の引用度の平均は、世界平均の3倍以上である等、非常に高い結果が出ている。平成22年5月に豪州で開催されたHFSPの支援国による政府間会合では、明確な原則に基づく新たな財政フレームワークを構築するための小作業部会を早急に設置し、平成24年3月までに評議員会への提言を行うこととなった。また、日本以外からの拠出金割合が今後も全体として着実に増加するよう、加盟国は拠出額を継続して増加させることが奨励された。平成24年度の当省の概算要求においては、同額要求を行うこととなった。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上	2人 うち 1人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	15人 13.3%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
事務局次長		中原徹		文部科学省より出向	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
引き続き邦人職員を送ることを計画中					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) 日本の拠出額は文部科学省、経済産業省の拠出合計額。